

森の恵み 夏のごちそう編

夏の暑い時期に採れるきのこです。採りたて時の薄茶色が、少しずつトビ色に変化します。



とびたけ (トビマイタケ)

お盆に大切なご先祖様へお供えします。

とびたけご飯

材料 (5~6人前)

- とびたけ 300g
- うるち米 3合
- もち米 1合
- 油 大さじ2
- 酒、みりん 各大さじ3
- めんつゆ(3倍濃縮) 大さじ5

とびたけの他に、人参・油揚げなどを入れても彩り良く美味しくいただけます。



出典:「村山旬の市」

<http://murayama-shun.com/>

(村山総合支庁産業経済部農業技術普及課)

作り方

①とびたけを洗い、細かく刻む。



②フライパンに、油大さじ2を入れ、刻んだとびたけを2~3分炒めた後、酒・みりん各大さじ3、めんつゆ大さじ5を入れて10分位煮る。塩加減をみて味を調える。終わったらザルにかけて煮汁と具に分けておく。



③研いで水に浸した米と②の煮汁を炊飯器に入れ、普通よりやや固めの水加減にして炊飯する。



④炊き上がったら、煮ておいた②のとびたけの具を入れ一緒に蒸らす。



山形県村山地域の農産物や直売所情報などを紹介するサイトです。



プロフィール 藤田 翼 さん

真室川町出身。山形県立農林大学校林業経営学科第一期生。卒業後は最上広域森林組合に就職。現在は林産振興課に所属し伐採・造材・運材といった生産現場での業務に従事。

もりしあん

— 森がある幸せを伝えたい —

山形県では将来の農林業を担うリーダーの育成のため「山形県立農林大学校」が設置されています。「林業経営学科」は平成28年に新設された学科で、今年で4年目です。卒業生はすでに様々な場所で活躍しています。今回は第1期生であり、現在は最上地域で働いている藤田翼さんにお話を伺いました。

林業で地元貢献したい

— 林業経営学科を志したきっかけは何ですか？

高校3年の時に、新しく創設される林業経営学科について高校の先生が情報提供してくれたことがきっかけです。それまでは自分がその分野を目指すとは思っていませんでしたが、オープンキャンパスで話を聞いてみて、徐々に「やってみたい」という興味が出てきました。さらに「WOOD JOB!」と神去なあなあ日常」という林業に挑戦する若者が主人公の映画を見る機会があって、自分が働いているイメージができていったんです。地元で働いて貢献したいという思いもありました。最上は林業が盛んな地域なので、きっと役に立つ経験になるだろうと考えました。

— 林業経営学科での経験から



チェーンソーを使って作業中

— 今のお仕事に活かしていると感じることは何ですか？

チェーンソーを扱った実習は、実際に現場で使うのでとても役に立っています。

また、危険予知の知識や行動を何度何度も教え込んでいただいたおかげで、働き始めてから今まで安全に作業できていると思います。働き始める前にその基礎部分を身につけられたので良かったです。

やりがいのある仕事、林業の魅力

— 卒業後は最上広域森林組合に就職されたということですが、現在の仕事についてどう感じていますか？

やりがいを強く感じる仕事です。夏は暑く冬は寒い外の現場で働くことは大変だと感じることはあります。しかし自然の中で仕事ができるということは魅力の一つです。作業が終わった後に光の差し込んだ森林を見ると、一仕事をやり切った清々しい気持ちになります。また、社会との関わりがあり誰かの役に立つ仕事であるということも魅力ですね。森林での作業は人に会う仕事というイメージではないかもしれませんが、作業が終わった後に所有者の方が現場を見に来られる時があります。「ありがと」と笑顔で声をかけていただいた時は本当にうれしい気持ちになりました。

林業を担う人材がもっと増えてほしい

— 今後の目標は何かありますか？

幅広い分野に対応できるように経験を積んでいきたいです。林業は多岐に渡る専門的知識や技術が必要とされるので、2年目でもまだ勉強したいと思う場面がたくさんあります。いろいろな資格を取り、将来的には自分自身で森林経営を行う立場になりたいと考えています。



勤務職場(最上広域森林組合)にて